

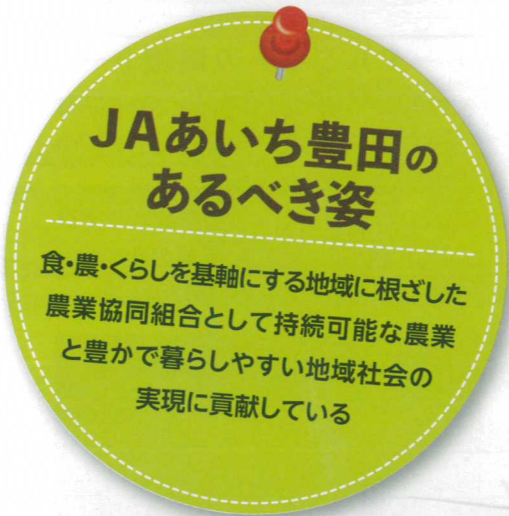


# JAあいち豊田の 自己改革への挑戦

JAあいち豊田は、地域に根ざした農業協同組合として、地域の「農」と「食」を守り、組合員の「くらし」を豊かにするための取り組みを進めています。

農業・農協改革を進める政府は、平成31年5月までを「農協改革集中推進期間」と設定し、農協の取り組みの成果を見て今後の方針を決めることとしています。

JAあいち豊田では、自ら取り組むべき課題と目標を定め、その成果を組合員と共有し、評価してもらえるよう取り組みを進めています。



## JAあいち豊田の あるべき姿

食・農・くらしを基軸にする地域に根ざした  
農業協同組合として持続可能な農業  
と豊かで暮らしやすい地域社会の  
実現に貢献している

### 第8次中期経営計画で掲げた あるべき姿の実現に向け

- 1 農家所得の向上
- 2 農業生産の拡大
- 3 地域の活性化



組合員の満足度を高め評価される自己改革に取り組みます



# 1

# 農家所得の向上

販売力の強化と生産コストの低減を実施し、農家所得の向上に取り組んでいます。



## 平成29年度 取り組み内容

### 農畜産物の有利販売

◆米・野菜・果物・花木の出荷規格の徹底・品質の向上による共選共販の強化に取り組みました。

(平成29年度 販売品総取扱高4,563百万円)



### トータルコストの削減

◆あぜなどの草刈りを省力化できる防草シートの購入に対し、94件2,123千円の助成を実施しました。

◆JAの全額助成による土壌診断を実施し、適正施肥による収量・品質の安定化と施肥コストの低減化に取り組みました。



### 農畜産物の消費拡大

◆1枚300円としてJAの直売所で産直野菜などの購入に使える「農業応援チケット」を定期貯金キャンペーンの契約者へ夏と冬の2回合わせて約13万枚プレゼントしました。

### 資材価格の低減

◆近隣店舗との価格比較調査を実施し、除草剤(ラウンドアップ・バスタの主要8規格)のキャンペーン価格を前年比で3.5%低減しました。

◆黒マルチの実勢価格の上昇に対し、大量一括仕入れを実施することによる提供価格の据え置きに取り組みました。

◆水稻基肥の主要8銘柄(ひとまきくん・側条エース)の価格を前年比12.1%低減しました。

◆肥料の原料価格の上昇に対し、事前に仕入れを実施することにより提供価格の上昇を抑えました。

◆基本機能に限定したオリジナル仕様の農業機械をJAグループ愛知にて共同一括購入し、低価格での農業機械の提供に取り組みました。



### ブランド化の促進

◆桃、梨の商品価値を高めるために量販店での販促活動や地元産野菜・果物の試食販売、イベント開催等によるPRIに取り組みました。

◆赤とんぼが舞う田園風景を取り戻すことを目的に、赤とんぼ米(環境保全米)の栽培者募集による規模拡大や消費者との交流イベント開催による消費拡大に取り組みました。

### 販売品総取扱高

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	4,485百万円	4,530百万円	4,531百万円
実績	4,493百万円	4,563百万円	—

### 独自米販売俵数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	38,000俵	39,000俵	40,000俵
実績	36,600俵	42,000俵	—

### 赤とんぼ米取扱俵数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	285俵	563俵	849俵
実績	212俵	514俵	—





# 農業生産の拡大

栽培指導・就農支援を実施し、生産量の増加に取り組んでいます。



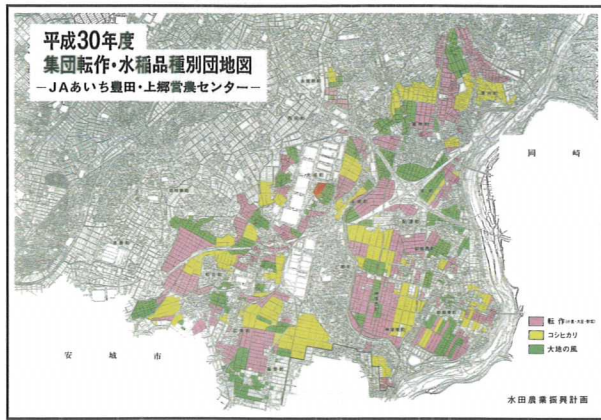
## 平成29年度 取り組み内容

### 農地利用集積の促進

◆農地の保全・管理・活用に向け、農地の利用集積やICT地理情報システムの導入検討、担い手との意見交換に取り組みました。

### 生産調整見直しへの対応

◆米価維持のためブロックローテーションを中心に生産調整を推進しました。



### 営農支援

◆営農座談会を36会場で1,098名の組合員に対して開催し、次年度の作付に向けた指導に取り組みました。



### 若手農家との意見交換

◆青年部次代の会とJAが意見交換を実施し、事業運営等に対する意見の反映に取り組みました。



### 担い手の育成

◆法人及び集落営農組織(中山間地域)の設立を支援し地域農業の維持に取り組みました。  
◆ほ場巡回や講習会を年間で764回実施し、生産者の育成に取り組みました。



### 鳥獣害被害抑制

◆有害鳥獣類による農作物被害を減少させるため、新型囲い罠「おりべえII」の導入試験を設置  
要望地域で実施しました。



### 施設園芸への取り組み強化

◆ホウレンソウ・コマツナ・チンゲンサイ・小ネギ等の栽培を希望する農家へ低価格(JAが6割助成)でリースできるビニールハウスを9棟導入しました。



### ほ場巡回・講習会

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	640回	816回	775回
実績	657回	764回	—

### リースハウス導入

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	—	9棟	9棟
実績	—	9棟	—



# 3

## 地域の活性化

地域のニーズをふまえ、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に取り組んでいます。



### 平成29年度 取り組み内容

#### 農業体験

◆米作りなどの農業体験や食育教室、市場見学会等へ、合わせて151家族、490名の方に参加いただき、「食」や「地元農産物」の大切さを改めて感じてもらい地産地消の促進に取り組みました。



#### 地域農業発信イベント

◆農家と消費者をつなぐ大型イベント「豊田・みよしの農業知ってJAフェスタ」や地域ごとに「ふれあいまつり」を開催し、10会場で合わせて約46,000名の方に来場いただき、地域農業の情報発信に取り組みました。



#### 女性部・助け合いの会の活動

◆地産地消・食農食育活動を積極的に実施し、地域イベント等への参加を通じて交流を図り、仲間づくりや地域貢献活動に取り組みました。

◆助け合いの会にて高齢者を対象にした「ミニデイサービス」を各地域で開催し、年間で85回2,502名の方に参加いただき、地域に根ざした活動に取り組みました。



#### 資産継承の支援

◆相続等に関する個別相談やセミナーを実施し組合員の資産継承の支援に取り組みました。

(平成29年度 相続相談件数 事前相談86件、事後相談224件)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
相続相談(事前)	計画	135件	100件	110件
	実績	96件	86件	—
相続相談(事後)	計画	230件	247件	254件
	実績	205件	224件	—

#### 農地斡旋機能の充実

◆地域農業の維持に向け、組合員のニーズに応える農地の流動化に取り組みました。



#### くらしの支援

◆金融部・営農部・生活部の連携による「農業応援付き定期貯金キャンペーン」を実施し、金融事業を利用する准組合員等に地元農産物の魅力を伝え、農業の応援団化に取り組みました。(平成29年度末貯金残高7,881億円、前年比104.40%)

◆組合員・地域利用者への生活保障の提案活動や、農業者の方へのリスク診断活動による対策提案を実施し安心の提供に取り組みました。

(平成29年度長期共済新契約額1,519億円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
貯金残高	計画	7,410億円	7,775億円	8,117億円
	実績	7,548億円	7,881億円	—
長期共済新契約	計画	1,000億円	1,000億円	1,000億円
	実績	1,070億円	1,519億円	—